月刊(No56)　平成16年8月1日第惨種幽貧物独自認可

月刊びゃっきープレス

byacky press

2008
5月号
毎月初回ライブ日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

11.09 ON SALE
60億分の1
CD Single
「60億分の1」
3曲入り 500円
オマケアニメーションつき
ライブ会場にて販売中
byacky@satram.jp

NG

よくライブで「MCを考えてこなかったので……」というMCを耳にする。MCを決めずに自然な自分を見せたいという意図なのだろう。ただ、それが失敗に終わっているケースも多く見かける。その原因の一つに「場つなぎ」のMCが挙げられる。ステージに上がったら、MCも腹を据えてかかれ！

ライブのセオリー

MCについて考える

こだわりを持って臨め

今回のびゃっきープレスではライブのMCというものにスポットライトを当てることにした。現在進行形でステージに立っている身分のため、こういった内容に抵触するのは若干恐い面もあるのだが、割と面白い話題であると思うので、思い切って掲載することにした。

そもそもなんでこんな話をしだしたかと言うと、演奏のうまいミュージシャンは割といるのに、MCがうまいミュージシャンは少ないと感じたため。ミュージシャンなんだから当たり前だろうという向きもあるが、スタジオミュージシャンではなく、ステージに立つからにはMCも重要なウェイトを占めるのではないかと個人的には考えている。

そこで「割とありがちなのだが、問題がありそうなMC」を取り上げてみることにする。反論があれば教えてほしい。実際この後挙げるMCをする人の気持ちがわからないので、教えてもらえるとありがたい。

其の壱「楽しんでってください」

このMCは一度は聞いた事があるんじゃないかと思う。これはどうだろうか。どこかお仕着せがましさを感じずにはいられない。お客さんにしてみれば「お前次第だろ」とか「楽しむことを強要するなよ」と思ったりしないだろうか。これは言葉使いはやわらかいが意味合い的には「おら、楽しめよ」である。そうではなく、素晴らしいステージを提供して、その結果お客さんが楽しめる、というのが正解のはず。その状況を作り出すのにその言葉自体を使ってしまっては、自己言及も甚だしく、論理的にもおかしい。これでは楽しめるはずもない。

其の弐「盛り上がってるか！」

これはロック系のライブでよくあるMC。盛り上がっているかどうかは一目瞭然のはずで、再確認の必要はない。にも関わらず再確認する気持ちがわからない。ここまでであれば「よくわからんな」止まりで済むのだが、腹立たしいケースもある。全く盛り上がってないライブでこの「盛り上がってるか！」を問うてきて、お客さんの反応が悪いと「今日の客は乗りが悪いな」などと人のせいにされてはもう、なんと無礼な輩であろうかと、シルクハットの紳士もぶんぶんステッキを振り回しかねない状況である。実際に振り回さなくても、心の中ではぶんぶんである。

其の参「MCが苦手なんで……」

これは場合によっては「可」で、MCが苦手であることを最初に断って、その後黙々と曲を次々に演奏する、こんな男気のあるライブであれば逆に脱帽である。

ところが「MCが苦手なんで……」と言った挙句に「何しゃべろっかな」とか言って、べらべらとしゃべりだすケース。これは意味不明である。MCが苦手なら他のことをやってほしい。これが謙遜で実はうまい場合、それはそれで鼻につくので、やっぱり言わない方がいい。

いくつか見てきたが、実はいずれも意味があって言ってるわけではなく、「場つなぎ」で言っている感じがある。だから許されるということはなく、どう考えてもお客さんに「場つなぎ」を見せるのは失礼である。ここらでもう一度MCを見直してみることを強くオススメする。

（びゃっきー）

今後のライブ予定

2008年5月31日(土)　東高円寺 KAZTOU
2008年6月12日(木)　阿佐ヶ谷 Next Sunday